

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業(在来種マルハナバチの利用拡大支援事業)に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	関東農政局
					在来種マルハナバチの利用農家数の割合		基準年 令和元年度	目標年 令和4年度	達成率	具体的な 取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、 地方農政局(北海道農政事務所、 内閣府沖縄総合事務局)の評価所見
栃木県	宇都宮市、上三川町	JAうつのみやトマト専門部越冬トマトグループ	トマト	平成31年度(令和元年度・2019年度)	20% (栽培戸数の増減や、環境変化を考慮し、達成可能な目標として成果目標を20%とした。)	20%	0% (16人中0人)	56% (16人中9人)	281.3% 達成	地域での在来種マルハナバチ利用上の注意点を明らかにし、構成員への周知を図ることで継続的に在来種マルハナバチの導入を図った。事業実施年度に実証ほ(7箇所・合計200a)を設置するとともに、講習会、検討会及び現地巡回指導を実施し、組合員への在来種マルハナバチの普及拡大を図った。	成果目標を達成した。

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあつては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。